

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第243回

【学生の目】

4月に不動産学部に入り知識を蓄えるにつれて、少しずつ不動産に興味を持ち始めた。私たちの大学は千葉県浦安市にある。大学の周囲は広々としていて、空間の余裕を毎日感じていた。そんな大学近くの住宅街で、一軒家が目に留まった。重量感があり、外壁面と門が同じデザインで統一感がある。外壁は独特の緑色で、庭の緑と調和しておしゃれだ。家主のゆとりが伝わる。目が留まった理由を更に考えて気づいたことは、入り口と玄関ドアの



吉田 勝
不動産学部1年

戸建て住宅の門扉

不思議な関係だ。普通の住宅では両者の関係は単純で、見ればわかる。この住宅の不思議はまず、最初に接する門扉と後ろの壁だ。門扉は袖壁のタイルに合わせて横線が基調のデザインで軽快だ。後ろの壁はペンキ仕上げの普通の壁だが、アイストップの役割がある(写真)。

アイストップは人の視線を受け止め、注意を引くための建築や樹木などを指し、建築や都市では様々なス

南面道路の住宅では玄関ドアを正面に付けることが一般的だが、写真の住宅では直角方向に

正面にアイストップの壁

ケールで用いられる。大きな例は、大通りの終点や途中に高層建物やテレビ塔を設ける、小さな例は、住宅の玄関ドアの正面に絵や生花を飾るなどである。

付けている。このため玄関ドアを開けても道路から中を覗かれることがない。門扉部分のアイストップとともに、住宅のプライバシーを守っている。更に、この住宅では敷地に入

境界を明示せずに敷地内を見せるオープン外構が流行だが、伝統的な外構には空間を分節する「ゆかし」の作法がある。門や塀を控えて造る動線を曲げてひきを演出する、高さを変えて精神性を持たせるなど、広

アイストップには別の面もある。正面を塞いで目線や動線を遮断し、何があるのだろうか、もっと進みたいと興味をもたせる効果だ。高級ホテルのトイレは用をたす空間に至るま

でいくつもの角があり方向転換させられる。用をたす空間を外部の視線から守るとともに、異質の空間に入り出す際の気持ちを整理する工夫だ。アイストップには、見せたくないものや全部が見えろと平凡となってしまうものの見え方を制限すると同時に、方向転換で新しくなる景色に感動させる効果や心の準備をさせる効果がある。

購入は、一生の中でも大きな出が、ふと感じる不思議を掘り下けると面白い。一軒家の建設や興味を持って家を考えてほしい。



門扉から玄関が見えない住宅を発見したが...

【教員のコメント】

場を超えた庭の文化がある。